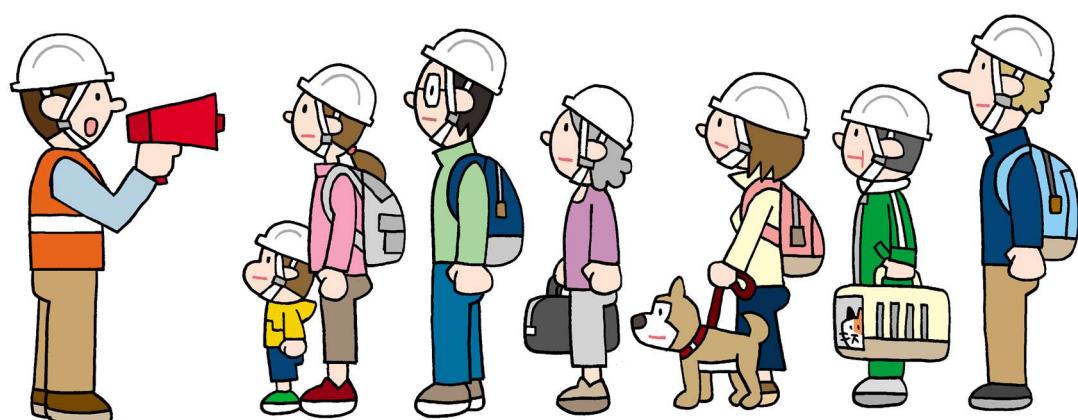


避難所におけるペット受け入れ検討の手引き

< 避難所運営者向け >



新 城 市

« 目 次 »

1 ペット同行避難者を受け入れる場合の原則

(1) ペットの飼育場所と居住スペース	1
(2) ペット飼育は飼い主の責任で行う	1

2 ペット同行避難者受け入れ検討のステップ

Step1 ペット受け入れスペースの検討	2
Step2 ペット受け入れ条件の検討	4
Step3 飼育ルールの検討	6

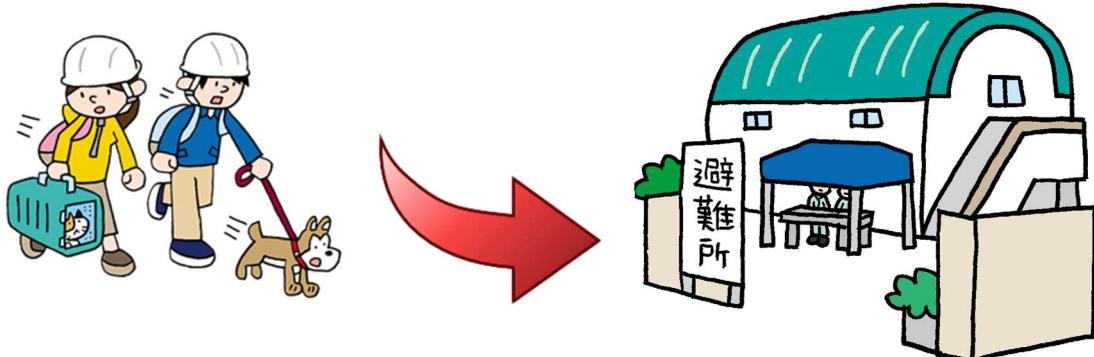
3 ペット同行避難者に関する相談先

..... 7

参考 避難所でのペット同行避難者受付の流れ

避難所には **必ずペット同行者が来ます**

緊急時に、現場で施設管理者が同行避難者の受け入れの可否を判断し、対応することは大変困難で、多大な労力を要するため事前に検討しておきましょう。



« 同行避難とは… »

災害の発生時に、飼い主が飼養しているペットを同行し、指定緊急避難場所等まで避難すること。避難所等で飼い主がペットを同室で飼養管理することではありません。

1 ペット同行避難者を受け入れる場合の原則

(1) ペットの飼育場所と居住スペース

避難所では、動物が苦手な人や動物アレルギーを持っている人、病気により免疫力が低下している人など様々な人が共同生活を送ることになります。すべての被災者の生活環境の保全を図り、ペットの鳴き声や毛の飛散、臭いなどのペットに起因するトラブルを最小化するため、ペットの受け入れスペースは人の居住スペースと分けて設けることが一般的です。



写真：環境省人とペットの災害対策ガイドライン
ボランティアの活動と規範



写真：NPO 法人アナイス

(2) ペット飼育は飼い主の責任で行う

ペットの世話やペットフードの確保、飼育場所の管理は、原則として飼い主の責任で行うこととされています。

避難所運営者は、他の避難者が安心して過ごせるようするためにも、ペット同行避難者がペットを適切に飼養管理できるよう支援を行いましょう。



イラスト：環境省 人とペットの災害対策ガイドライン

2 ペット同行避難者受け入れ検討のステップ

大勢の人が共同生活を送る避難所において、ペットに関するトラブルが生じないように施設の規模・設備に応じた受け入れ条件や飼育ルールを定めましょう。

Step 1 ペット受け入れスペースの検討

はじめに避難所となる施設を点検し、以下のポイントに注意しながら受け入れスペースを検討しましょう。



- 避難所利用者等の通路ではない場所 『動線が交わらない』
咬傷事故（咬みつき）や鳴き声防止のため、避難所利用者の通路となる場所は避けましょう。

ペットは、環境の変化やストレスにより攻撃的になる場合があります

- 視界が大きく開けていない場所
鳴き声トラブルの予防、ペットのストレス軽減のため、ペットの視界が広く開けた場所は避けましょう。

ペットは、見慣れない人や聞き慣れない音などにより強い不安を感じ、犬は集団になると連鎖して吠えてしまう習性を持ちます

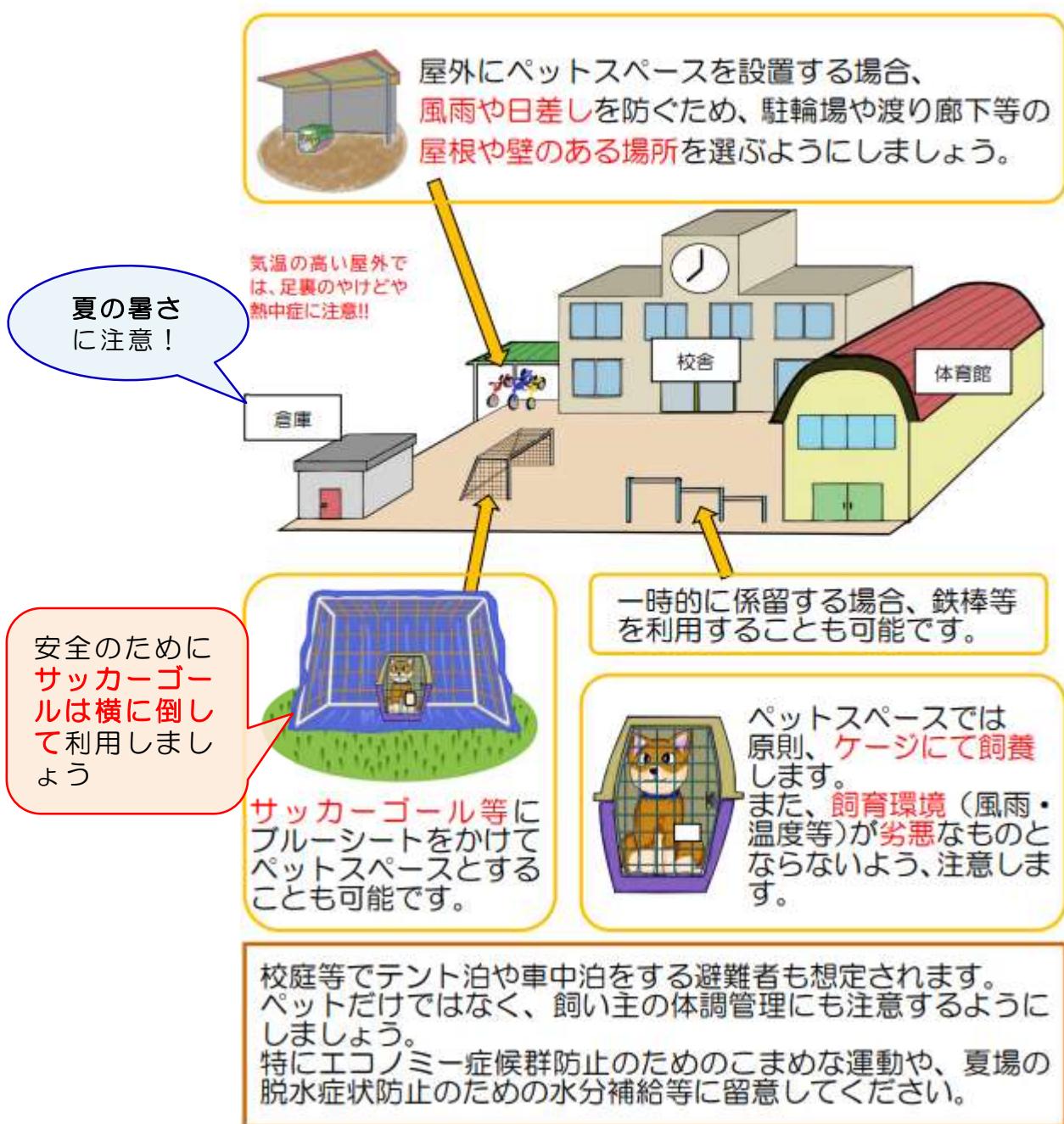
- 直射日光や雨風等があたらない場所
ペットの健康管理や問題行動予防のため、直射日光や雨風等のあたる場所は避けましょう。

ペットの健康管理等のため、頭数や季節・気候等を考慮して、避難所におけるペットの飼育スペースや飼育方法を決定します

- 動物種ごとに分けられる場所
ペットの健康管理のため、できるだけ動物種ごとに部屋を分けて管理しましょう。

様々な種類のペットが同じ場所で生活すると、ストレスが増大してしまうため、可能な限り区分して飼育します

ペットスペース屋外設置例（学校）



イラスト：愛媛県避難所におけるペット受入体制整備マニュアルを引用

すべてを満たせなくとも状況に応じて優先事項を定め、よりよい場所を検討しましょう。
また、ブルーシート等を活用し、受け入れスペースを準備することも考えましょう。

過去の災害で使われた飼育場所の例



- ・体育館の倉庫
- ・裏口の風除室
- ・プール用の更衣室
- ・渡り廊下
- ・階段の踊り場
- ・階段の下
- ・屋内ゲートボール場
- ・弓道場
- ・職員用玄関
- ・音楽室等防音設備のある部屋など

Step 2 ペット受け入れ条件の検討

受け入れスペースを決めたら、次のポイントに注意し対象動物や受け入れ条件を検討しましょう。

□ 対象動物とその頭数

原則、犬・猫・小動物（うさぎ、ハムスター、小鳥など）

ケージに入らないような大型犬の受け入れについては、避難所ごとで受け入れを検討してください。

なお、身体障害者補助犬は、飼い主との同居とします。



写真：環境省 東日本大震災における被災
動物対応記録集



ペットスペースでは「飼い主が用意」したケージでの飼育が基本です。
ケージがない場合の取り扱いは避難所の判断になります。

○ 受け入れ数の目安

- ・犬を支柱につなぐ場合は最低半径1m程度の円形のスペースが必要
- ・小型犬や猫をケージに入れる場合は45cm×60cm程度のスペースが、
小動物の場合は45cm四方程度のスペースが必要

□ 健康状態及び予防接種等の確認

ペットから人、ペットからペットに感染する病気を予防するため、以下の健康管理を行っているか、また、ペットの性格なども受付時に確認し、飼養のための情報を得てください。

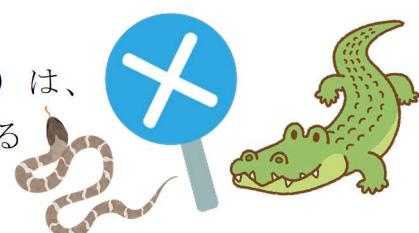


- ・狂犬病予防接種（犬のみ）
- ・混合ワクチン（犬・猫：ペット同士の
感染予防のためのワクチン）
- ・フィラリア予防の確認（感染の有無を含む）
- ・不妊去勢手術実施の有無
- ・ノミ、ダニ予防など

避難所にはみんなのペットが集まりますので、飼い主やペットにとって住みやすい環境とするためにも、混合ワクチン接種やフィラリア予防などについてご検討ください。

□ その他の動物への対応

特定動物と言われる危険な動物（毒ヘビやワニ）は、専用の飼育設備が必要なため、避難所で受け入れることはできません。



■ 受け入れの条件

避難所では、動物が苦手な人や動物アレルギーを持っている人、病気により免疫力が低下している人など様々な人が共同生活を送ることになります。

避難所の生活環境を維持するには、ペットの鳴き声や毛の飛散、臭いなどペットに起因するトラブルを最小化することが必要です。

これには、ペット飼養に関して飼い主同士の協働の認識が不可欠であり、ペットを収容する際のルールを理解してもらう必要があります。

«避難所用動物調査票»

No

飼い主 氏名 _____
携 帯 電 話 _____

動物の種類	犬・猫・その他()			年齢	歳
動物の呼び名				体格	大・中・小
性別	オス・メス・不妊去勢済			毛色	
病気	無・有()			ノミ・ダニ	済・未
混合ワクチン	済・未	フィラリア	済・未	狂犬病予防	済(月)・未
性格	人なつこい・大人しい・咬む・吠える・()				
普段の飼育環境	屋内(ケージ内・ケージ外・出入り自由)・屋外(リード有・リード無)				
避難所で必要な物	ケージ・フード・その他()				

(押印) -----

ネームプレート

No

動物の種類	犬・猫・その他()		
動物の呼び名			毛色
年齢・性別	歳	オス・メス・不妊去勢済	
飼い主氏名			
緊急連絡先			
性格・注意事項	人なつこい	大人しい	
	咬む	吠える	
	その他()		

Step 3 飼育ルールの検討

受け入れ時にルールの周知・徹底ができるよう、事前に避難所内の飼育ルールを検討しておきましょう。

□ 基本ルール

他の各自治体、他の避難所の避難所運営マニュアルなどを参考に、基本的なルールを事前に検討しましょう。

かぬしみなさま
ペットの飼い主の皆様へ

しげく ペットの飼育について

ひなんじょおおひとたちきょうどうせいかつ
避難所では、多くの人達が共同で生活しています。

ひなんじょしげく
避難所でペットを飼育するためには、次のことを守ってください。

- ペットは、他の避難所利用者の理解と協力のもと、飼い主が責任を持って飼育することを原則とします。
- ペットは指定された場所に必ずつなぐか、檻（ケージなど）の中で飼ってください。
- ペットの飼育場所は、飼い主の手によって常に清潔にし、必要に応じて消毒を行ってください。
- ペットの食料は原則として飼い主が用意してください。また、給餌の時間を決め、その都度きれいに片付けてください。
- ペットによる苦情、危害防止に努めてください。
- 屋外の指定された場所で必ず排便させ、後始末をしてください。
- ノミの駆除に努めてください。
- 運動やブラッシングは、必ず屋外で行ってください。
- 飼育困難な場合は、県動物救護本部や市獣医師会に相談してください。

けんどうぶつきゅうごほんぶ 県動物救護本部の連絡先	()	—
しじゅういしがいわんらくさき 市獣医師会の連絡先	()	—

- ペットの関係で、他の避難所利用者との間でトラブルが生じた場合は、速やかに総合受付までご連絡ください。

□ 状況に応じて追加が必要なルール

長期間避難所を運営していると、基本ルールだけでは対応できない問題も出てくる可能性があります。その都度必要に応じてルールを飼い主グループとともに検討するようにしましょう。例：支援物資の搬入、配給、保管（例：役割分担）

3 ペット同行避難者に関する相談先

《避難所運営にすること》

新城市役所 総務部 防災対策課 ダイヤルイン 0536-23-7660
(〒441-1392 新城市字東入船 115)

《ペットの平時の備えについて》

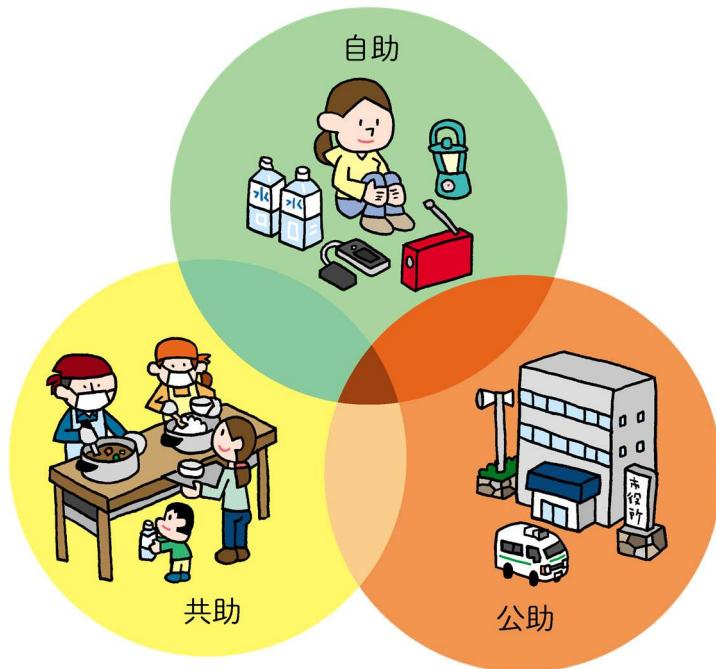
○愛知県窓口

愛知県 保健医療局 生活衛生課
獣医衛生・動物愛護グループ ダイヤルイン 052-954-6298

動物愛護センター 東三河支所 0532-33-3777
(〒441-8077 豊橋市神野新田町字京ノ割 50-2)

○新城市窓口

新城市役所 市民協働部 環境政策課 ダイヤルイン 0536-23-7690
(〒441-1392 新城市字東入船 115)



ペットの飼い主の方も飼い主でない方も避難生活は仲良く

やさしさと思いやりを大切に

助け合って、みんなで乗り切りましょう！

避難所でのペット同行避難者受付の流れ

- ◎ 本受け付けの混乱（咬傷事故等）を避けるために、できるだけ違う場所でペット同行避難者の受け付けを行う。

《入所受け付け》

1 ペット同行避難者の受け付け

受け入れが考えられる生き物としては、犬、猫、鳥類、げっ歯類（うさぎ、ネズミ類）のうち比較的小型の動物が考えられるが、詳細は避難所ごとの判断となる。

(1) 避難者に記入していただくこと

- ① 避難所利用者登録票（様式集11）の申請者とペットの状況欄
- ② 避難所用動物調査票（ネームプレート欄は受け付け側が転記する）

(2) 受け付け側の作業

- ① 避難所運営委員会（同委員会保健・衛生班）は、避難所利用者登録票（様式集11）に記された「ペットの状況欄」を確認するとともにペット登録台帳（様式集14）へ転記し、管理する。その際にペットが犬であれば、避難所用動物調査票や愛犬手帳などから、犬種、体格、毛色、性別、市の登録の有無、狂犬病予防接種状況を、猫であれば、猫種、性別、毛色を記す。

咬傷事故等を防ぐためにペットの性格、飼育環境等の記入も確認する。

- ② ペット同行避難者へ避難所における飼育ルール（※地域避難所におけるペット飼育ルール）を説明し、了承を得る。
- ③ 受け付け後、避難者及びペットを飼養スペースへ誘導する。

避難所用動物調査票のネームプレート欄をケージに貼り付け、併せてケージに番号が記されたエフを付け、エフの半券を飼い主に渡す。このエフに記された番号は、避難所用動物調査票（ペット同行避難者の受付において管理）にも転記する。

- ④ 本受け付けへ案内

避難所利用者登録票（様式集11）、ペット登録台帳（様式集14）を本受け付けへ提出するよう依頼する。

- ⑤ 避難者報告時に保健衛生班を通じて災害対策本部へ報告する。

《飼育スペースでの対応》

- 原則、ケージ等での飼育とする。ケージ等が無い場合は周囲に迷惑にならないよう係留する。
- 飼養場所は、動物種ごとに分ける。
- ペット飼養スペースはブルーシート等で養生する。
- 塩素系漂白剤(動物用リセッシュ)等により消毒、消臭を実施する。
- 飼い主以外の人が飼育スペースに立ち入らないようにする。

《避難所開設中》

- 飼育管理基本ルールを徹底する。
- 物資、資機材の提供、補充を行う。
- 相談や苦情等の対応をする。
- 施設内の見回りを行う。

《退 所》

- 避難者による避難スペースの片付け、消毒を実施する。
- 忘れ物を確認する。
- 「退所届(様式集16)」を提出し、「ペット登録台帳(様式集14)」に退所日を記入する。

《避難所閉鎖》

- 避難所担当職員及び飼い主らによる施設の片付け、ごみの処理、消毒を実施する。
- 災害対策本部へ閉鎖を報告する。

この様式を使う場合は、表面と裏面を両面コピーしてください

新城市避難所運営マニュアル 様式集

ひなんじょ りょうしや とうろくひょう 避難所利用者登録票 表面			避難所名			受付番号
記入日	年 月 日 ()		記入者氏名			
住 所	〒 一		行政区			
			自宅の被害状況	全壊	半壊	一部損壊
				全焼	半焼	床上浸水
電話	() 一	流出		その他 ()		
携帯電話	() 一	滞在を希望する場所	<input type="checkbox"/> 避難所			
FAX	() 一		<input type="checkbox"/> テント（避難所敷地内に設営）			
メール	@		<input type="checkbox"/> 車両（避難所敷地内に駐車）			
その他連絡先（親戚など）	〒 一		<input type="checkbox"/> 避難所以外の場所			
			自宅			
			他 ()			
避難所を利用する人 (避難所以外の場所に滞在する人も記入)			けがや病気 障がい アレルギーの有無、妊娠中、使用できる言語など、特に配慮が必要なこと		運営に協力できること（特技・免許）	必ず確認！安否確認への対応※
世帯主	氏 名	生年月日・年齢	性別			
世帯主	ふりがな	大／昭／平／令 年 月 日 歳				公開 非公開
ご家族	ふりがな	大／昭／平／令 年 月 日 歳				公開 非公開
	ふりがな	大／昭／平／令 年 月 日 歳				公開 非公開
	ふりがな	大／昭／平／令 年 月 日 歳				公開 非公開
	ふりがな	大／昭／平／令 年 月 日 歳				公開 非公開
ペットの状況	<input type="checkbox"/> 飼っていない <input type="checkbox"/> 飼っている⇒右欄へ	種類 (頭数)			<input type="checkbox"/> 同伴希望（ペット台帳に記入） <input type="checkbox"/> 在宅 <input type="checkbox"/> 行方不明	
自家用車（避難所に駐車する場合）	車種		色	ナンバー		

・世帯（家族）ごとに記入して、総合受付に提出してください。

・ご記入いただいた情報は、食料や物資の配給や健康管理などの支援を行うため、避難所運営のために必要最低限の範囲で共有します。また市災害対策本部にも提供し、被災者支援のために市が作成する「被災者台帳」にも利用します。

※安否の問い合わせがあった場合に、住所（〇〇町〇〇丁目まで）と氏名、ふりがなを公開してもよいか、個人ごとに必ず確認してください。

«避難所用動物調査票»

No

飼い主氏名

携帯電話

動物の種類	犬・猫・その他()			年齢	歳
動物の呼び名				体格	大・中・小
性別	オス・メス・不妊去勢済			毛色	
病気	無・有()			ノミ・ダニ	済・未
混合ワクチン	済・未	フィラリア	済・未	狂犬病予防	済(月)・未
性格	人なつこい・大人しい・咬む・吠える・()				
普段の飼育環境	屋内(ケージ内・ケージ外・出入り自由)・屋外(リード有・リード無)				
避難所で必要な物	ケージ・フード・その他()				

(キヤリ)

ネームプレート

No

動物の種類	犬・猫・その他()				
動物の呼び名				毛色	
年齢・性別	歳	オス・メス・不妊去勢済			
飼い主氏名					
緊急連絡先					
性格・注意事項	人なつこい		大人しい		
	咬む		吠える		
	その他()				

地域避難所におけるペット飼育ルール

〇〇〇学校へペットを連れて避難された飼い主の方へ

人とペットの健康と安全のため、以下の運営方針にご理解・ご協力ください。

- 「飼い主の会」に参加し、ペットが避難している場所等の維持管理に協力します。
- 飼い主の会で行うミーティングに参加します。
- 掲示板を定期的に確認して、情報共有に努めます。
- 問題が起きたときは、以下の「きまり」に沿って、助け合います。
- 避難所から退去する場合は「飼い主の会」に連絡します。

みなさんに守っていただく「きまり」

飼い主の責任でペットを飼養しましょう

- ・ペットの給餌などの世話は、全て飼い主が責任を持って行います
- ・犬は鑑札・狂犬病予防注射済票を装着し、決して散歩などで放しません
- ・常時清掃し、臭気が発生しないようにします
- ・他の避難者との間でトラブルが生じた場合は、責任をもって解決します

人とペットの生活スペースを分けましょう

- ・動物が苦手な人やアレルギーがある人に配慮します
- ・人とペットの動線や生活スペースは分けます（盲導犬、介助犬、聴導犬などの補助犬はこの限りではありません）

飼い主同士の連携・協力に努めましょう

- ・掲示板等を活用して情報交換します
- ・飼い主同士で協力し、役割分担を行いながらペットの飼育を行います
- ・持病や負傷などにより、自分のペットの世話をすることができない飼い主がいる場合は、他の飼い主で協力して飼育を行います
- ・ペットの飼育管理に係る物資の支援が届いた際は、受け取り・運搬に協力します

関連する法令を遵守しましょう

- ・飼い主を明示します（鑑札・迷子札・マイクロチップなど）

ペット登録台帳						避難所名				
番号	ペットの名前	動物の種類	品種	性別	特徴 (毛色・体格、迷子札の有無)	犬のみ記入		飼い主の連絡先 (氏名) (電話)	受付担当の記入欄	
						市の登録	狂犬病注射		組名	入所日
記入例	ケイ	犬	チワワ	雄雌外	茶・小型 迷子札なし	済	済	新城太郎	組名	入所日
						未	未	090-〇〇〇〇-□□□□		
				雄雌外		済	済		組名	入所日
						未	未			
				雄雌外		済	済		組名	入所日
						未	未			
				雄雌外		済	済		組名	入所日
						未	未			
				雄雌外		済	済		組名	入所日
						未	未			
				雄雌外		済	済		組名	入所日
						未	未			
				雄雌外		済	済		組名	入所日
						未	未			
				雄雌外		済	済		組名	入所日
						未	未			
				雄雌外		済	済		組名	入所日
						未	未			
				雄雌外		済	済		組名	入所日
						未	未			
				雄雌外		済	済		組名	入所日
						未	未			

新城市避難所運営マニュアル 様式集

たいしょとどけ 退所届		避難所名		受付番号
記入日	年 月 日 ()	記入者名		
退所日	年 月 日 ()			
退所する人				
氏名		組名	退所後の連絡先	必ず確認! 安否確認への対応※
世 帯 主	ふりがな		〒 — 電話 () —	公開 / 非公開
	ふりがな		〒 — 電話 () —	公開 / 非公開
ご 家 族	ふりがな		〒 — 電話 () —	公開 / 非公開
	ふりがな		〒 — 電話 () —	公開 / 非公開
ふりがな		〒 — 電話 () —	公開 / 非公開	
備 考				

※退所後に安否の問い合わせや郵便物などがあった場合に、退所後の連絡先の住所（〇〇町〇〇丁目まで）と氏名、ふりがなを公開してもよいか個人ごとに必ず確認してください。